

新宿区夏目漱石記念施設整備基金 令和2年度実績報告

令和3年3月31日現在

平成29年9月24日に新宿区立漱石山房記念館が開館しました。平成25年、記念館の建設のため創設した新宿区夏目漱石記念施設整備基金は、開館後の現在も資料の収集や修復等に役立てるため、引き続きご寄附を募っています。令和2年度は下記のとおりご寄附を賜りました。ご支援いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

令和2年度寄附金額 2,478,500円 寄附件数 68件

- ・累計寄附金額 131,684,131円 (寄附の受付開始 平成25年7月1日から)
- ・累計寄附件数 2,607件

活用のご報告

令和2年度はいただいたご寄附の中から次のような資料を購入させていただきました。今後、漱石山房記念館の展覧会で展示して活用いたします。



夏目漱石旧蔵硯(蓮に蛙)

漱石が所有した数多くの硯の内の1点で、戦災により一部(蛙の部分)が欠損しています。漱石遺愛の品が新たに発見されることは稀であり、大変貴重な資料です。漱石の長男純一氏による添書き(複写)が付属しています。



夏目漱石俳句幅「春の海に橋をかけたり五大堂」

明治29年春、松山で漱石が詠んだ句です。松山時代の漱石の庵「愚陀佛」の号があります。「子規に送りたいる句稿 その十四」(3月24日)の中にあるもので、『図説 漱石大観』(昭和56年角川書店)に収められた資料です。

購入資料 展示活用のご報告

令和2年度、漱石山房記念館では「越後の哲学者 松岡譲一人と作品一」、「漱石の書と書簡」の2つのテーマ展示と、特別展「漱石山房の津田青楓」を開催いたしました。

特別展では本基金にいただいたご寄附を活用して購入した津田青楓画幅《漱石と十弟子》を展示いたしました。



問合せ先

新宿区 文化観光産業部文化観光課 文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 第1分庁舎6階 電話 03(5273)4126 FAX 03(3209)1500